

つらしん

ひこうせん通信

vol.58

第4回
それいゆコンサート
KiMiR CoLoR
7月29日(金)19:00-21:00
チケット 2,000円
(ワンプレート・飲み物付き)

KiMiR CoLoR

ボーカルのヒロとギターのヒデの2人組ユニット。

2010年に結成し、「君がいるから僕達唄えるんだよ」という感謝を込めて、聞いてくれる人の心に少しでも癒しを届けたくて、オリジナル曲や、コブクロ・美空ひばりなどのカバーを歌いながら、ライブハウスや福祉施設などで活動中。



ゲスト 酒井 誠

ギター人口が増えることを願いてSギター教室をやりながら、何も無かった所に人が集まり音楽が創られるZZL (Zero Zone Live) を開催。自らも時間が許す限りライブに参加。

キミールカラーの尊敬する先生です。

お問合せ

カフェ それいゆ

〒361-0084 行田市南河原 2676-1

電話:048-557-1706

担当:田島しのぶ

どんな小さな工事でもOK
・ワイヤー工事
・新築工事
・増改築工事
料金もお手頃
〒360-0841
熊谷市新堀919-12
TEL:048-572-4686
FAX:048-573-5776

ハチミツ ローヤルゼリー プロポリスの専門店
〒361-0073 埼玉県行田市行田 5-6
行田店 ☎048(550)4783 武州養蜂園

居酒屋 謙信
Tel・Fax : 048-554-5245
定休日 : 日曜日・祭日・第3月曜日
おすすめ : 単揚げ 5本 300円
お土産にもできます。

編集・発行

NPO法人 CIL ひこうせん

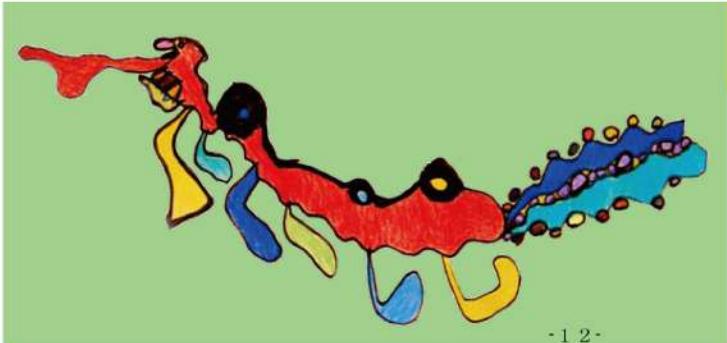
〒361-0071

埼玉県行田市栄町 22-5

TEL : 048-(555)-1100

FAX : 048-(555)-1301

HP:<http://cil-hikousen.jp>



- 12 -



2011年7月20日

エヌビーオーほうじん シーアイエル
NPO法人 CIL ひこうせん発行

絵:原口めぐみ

特集:障がい者の仕事とは Part 1

とくしゅう しょう

しゃ しごと

パート ワン

- 1 -

コラム れすぽんす

木村 浩司

東日本大震災の「復興」が遅れている日本。
今年の8月で戦後6年目を迎える。世界唯一の被爆国として、核兵器廃絶に取り組んでいる一方で、原子力発電に依存している日本。

今回の福島原発事故でこれからのエネルギー政策を問われている日本。
沖縄県の米軍基地問題に未だ解決策を示さない日本。

これらの問題を早急に解決すべきである政治は、政治家自身が自分達の利権を優先し、国民無視の状態である。それに加えて、これらの諸問題を当事者抜きで問題解決しようとしている政治、行政の体制こそが問題である。

一つの具体例を挙げると、宮城県のあるバリアフリー仮設住宅では、玄関にはスロープが付いているが、室内は一般仮設住宅と同じ広さのトイレやユニットバスであり、しかもユニットバスの入口には、約20cmの段があることも復興する過程でみえてきた実態である。この具体例では、仮設住宅を建設するときに当事者である障がい者や高齢者の意見を聞かず、建設してしまったのである。

障がい者問題も復興も原発も基地問題も共通して言えることは、どれも当事者抜きで決められていることである。

今回の原発問題でこのまま、原発を推進するべきか否かを国民、特に原発がある地元住民に問うべきであろう。また、沖縄の基地移設問題で県民の意見を無視するような国では民主主義の国家とは言えない。

行政が何とか計画を策定するために多額の予算をかけて、コンサルタント会社に依頼するが、本当に地元のことは、そこに住む住民が知っており、本当のコンサルタントである。

「地域のことは、住民に聞け」「障がい者のことは障がい者に聞け」ということを今だからなお強く言いたい。

今まで、官僚主導、行政主導で社会が動いてきたが、住民の多様なニーズに対応が追いつかなくななり、後手手に回っている。良い例が、今回の震災で多額な義援金が集まつたが、その大半は、被災者の手に届いていない実態がある。それは、国で基準を設け、それによって、確認作業が必要となり、結果として遅れが生じている。この対応策として、被災した県なり市町村に任せるべきであったと思われる。

今回の震災を機にこれから日本を再生させるために、政治、官僚、行政主導ではなく、国民主主義、とうじゅうし、じゅうたい、しゃくわんかんが大転換する絶好の時であろう。

と、同時に当事者側もこれまで以上の責任も出てくる。これも当事者に選択させる機会を与えるのが、今出来る政治の役割である。

特集:障がい者の仕事とは

「障がい者でも」できる仕事から「障がい者しか」できない仕事への転換

～木村流新しい障がい者の仕事の提案～

2008年世界を不況にさせたアメリカのリーマンショック以来、日本でも非正規雇用、失業や倒産、ワーキングプア等が雇用に関しての問題になっている。しかし、障がい者の就労問題は今に始まったのではなく、長年の課題である。それをこうした問題を理由に今まで以上に困難な状態になっている。その一方で、作業所等の工賃は、依然大きく最低賃金を下回っている。

「仕事」の大きな目的は、企業等に労働を提供し、賃金を得て、それによって生活を成り立たせるための行為である。私は、この仕事の目的を達成していれば、一般企業でも福祉施設でも自己選択・自己決定で仕事を選べば良いのではないかと考えている。

しかし、特に重度の障がい者は、今の障害基礎年金だけでは、地域生活を営むことができない。重度の障がい者の地域生活を支える所得保障は、基礎年金と手当で、生活保護であるが、これらの所得保障も皆が支給されるわけではなく、各々の制度に決められている基準に該当するか、しないかによって違ってくる。

今まで、重度障がい者は、長年「何もできない存在」という固定観念が社会の方にあった。果たしてそうだろうか?

例えば、24時間介助が必要な人がいるとしたら、1日労働が8時間で、1日3人で1カ月平均300円として、1ヶ月で約90人の介助者が必要になる。これは、労働の側面からみれば、この人は「介助」という雇用の場をつくる仕事をしていると言える。そのことの仕事に対しての賃金は国なり自治体の労働予算から払うべきであると思う。

ある大手家電メーカーでは、誰でも簡単に炊飯ができる炊飯器を開発したが、その商品を開発するときに多くの高齢者をモニターにしたという。これまで、専門家達が開発やバリアフリーのものづくりをしてきたが、それが誰もが使えるものでない場合もあった。

今後、地域で生活する障がい者や高齢者が増え、バリアフリーとかユニバーサルデザインが拡大によって、炊飯器のようになに障がい者や高齢者が商品開発や街づくりに参加することによって、誰でもが使えるもの、安心して暮らせる街づくりに反映できると考える。その上でボランティア的な関わり方ではなく、きちんと労働と位置づけることも大切である。

このように社会全体が雇用の場となることを「社会的雇用」といい、先に書いた重度障がい者が地域生活をすることによって、多くの人に「介助」という仕事を与える等のその人を中心とした仕事をこれを「内的生産性」と呼んでいる。

これまで、作業所では、「障がい者でも出来る仕事」を中心にして雇用や作業が考えられてきた。その結果、作業所では1個1円にも満たない内職を行い、月1万円に満たない工賃が支払われているのが現状である。

これからは、福祉事業所（施設）側が「社会的雇用」や「内的生産性」の考え方を基にして、「障がい者しか出来ない仕事」を提案し、それに対し、企業を含めた社会全体が受け止めるシステムの構築こそが、障がい者の地域生活を安定的に支えることにつながると考える。

「社会的雇用」は、既にヨーロッパ各国に取り入れられ、障がい者だけではなく、ニートや高齢者等の雇用対策にも多いに役立っている。日本も早急に取り入れ、今の雇用問題の有効的な施策として位置づけるべきである。

おも それぞれの思いひこうせんに関わる障がい者の方たちに「仕事」への考え方を聞きました。

◆Kさん「さんぽうよし」

仕事は「人生五十年」と昔のたとえから考えてみても、その半分以上の年月を基礎教育を終えてからの人生において仕事を通して社会を学び、喜怒哀樂を体験するものである。現代は長寿となって「人生八十年」とも呼ばれ益々仕事をする・しているとの実感を持てることは生きていると感じられることに繋がるのではないだろうか？

自身の半生を振り返った時に仕事を通しての学びは「俺は生きている」と実感出来るものであった。過去ずっと『一生をかけるのに値する仕事をしたい』と思い続けて志半ばで挫折したが今に至つた今でも、想いは変わらない。

当時勤めていた会社での社員教育の影響も大きかったと思うが、仕事に向かっている時、いつも頭に浮かんでいたことは、「どうしたらもっと処理効率を簡単にあげられるか？」「どうしたら顧客の満足を得られるか？」ということだった。

顧客との人間関係を構築しつづけていた頃、眼をかけてくれたある経営者から聞いた話が、その後の仕事に取り組む自分の基本的な姿勢となった。

その言葉とは『さんぽうよし』である。

その昔、近江商人の行商は、他国で商売をし、やがて開店することが本分であり、旅先の人々の信頼を得ることがよりも大切であった。

そのため心得として説かれたのが、『売り手よし、貰い手よし、世間よし』の、『三方よし』という思想である。噛み砕いて言えば、『わたしよし、あなたよし、世間よし』みんな良し・・・と云うことである。

この『三方よし』の姿勢を崩さず仕事に臨んだ時にはその時販売競争に破れることがあつても、後の自分の評価を上げることになり色々な依頼へと繋がって仕事の引き合いをもらうことも出来た。競争には破れはしても、人には無駄なことに写った行動は自分自身を売り込んでいた。観る人は見ていたのである。

仕事をする世界（ビジネス）では個人の信用はかけがえのない宝だ。

重度障がい者となった今でも、その思想は仕事に取り組み成果をあげるまでの間に、何度も何度も想い起す自分自身にとってのバイブルである。

30代の時に一度倒れ、身体は不自由になったものの、頭と口は何の後遺症も残らず、職場復帰に自信があったが、何人の生活を支え、会社の命運を左右するプロダクトに育ち始めたプロジェクトを一旦離れ、障がい者となってしまった自分に、納得出来る立場は無く、自分の企画したプロダクトに自分が必要無くなった疎外感から、やがて退職するようになる。

しかし、『三方よし』を姿勢として実践して来た私の姿を見ていた懇意なユーザグループに資金支援をもらう幸運に恵まれ、パソコン用に作って来たソフトに独自機能を加えて会社設立する為の元手を作ることができた。並行して都内で度々競合になっていた人間から接触があり縁が広がって、三人で会社設立することになった。

構想は持ちながらもなかなか踏み出せなかつたことが、障がい者になってしまったことがきっかけとなり急展開をし始めたのである。

その後、40代後半、仕事が楽しくて楽しくてしようがない、と言う充実した日々であったが、ある日勤務中、プレゼンテーションを終えて席して間もなく身体に異変を起し再び倒れた。救急車で運び込まれ一命は取り止めたものの、一生を車椅子での生活を余儀なくされた。左手親指の僅かな動きを残し

おも それぞれの思いひこうせんに関わる障がい者の方たちに「仕事」への考え方を聞きました。

首から下の自由のきかない、右麻痺の一級障がい者となってしまった。

五十路も半分が過ぎようとしている今、以前のようには動き廻ることは出来ない。病気は自分の最大の武器であった言葉をも奪って行ってしまった。

麻痺は元どうりになる事は現代医学では無いと言う。

選択肢の無くなつた中で自分はスイッチにこだわって行こうと思っている。

一つのスイッチで身の回りの機械類を動かし自分の生活の質を上げることを優先順位N.1として来た。

自分は切換器を既に試用を始め改善点のチェックをしているがこれを上手に使いこなす障がい者の人が現れた時には、スイッチにこだわった私の障がい者だから気付き出来ることは『三方よし』の思想、『わたしよし、あなたよし、みんなよし』へと一步ずつ近づいている。

◆大塚則幸さん「障がい者の仕事」

私は、48歳の時に自立生活ホームに入り暮らしていました。一年後 49歳で初めて仕事をやりました。

何もしないで障害者年金だけでは人間らしく生きられないと思ったからです。

仕事をやって給料もらう。障がい者がやれることは少ないです。だけど、ひこうせんは、考えて仕事をやれるようにしてくれています。

私が見ている私と同じ重度障がい者の人々は諂めている。绝望の表にも出ない、仕事もしない年金だけで暮らしている。

たとえば、皆が遊びに行く場合も行かない。買い物にも行かない。

どうして？よく聞くと年金だけでは出来ない。介護の人も居ないしと言う。

だけども、私は誰でも考え方を変えることで、仕事が出来るようになると思う。私は、四年前に結婚しました。給料と年金で生活しています。私と同じ障がい者もやればできると思います。

◆堀越寛さん「仕事」

自分は10年前、頸椎損傷になって以来、四肢が麻痺してものを食べるのも、困難な状態でした。懸念なるリハビリの結果、食事はもちろんバランスを使って文字を書いたり、近年は絵手紙を描くことに挑戦しております。

パソコンも、昨年の夏から少しづつできるようになりました。

障がいを持つてしまうと、ついいつ日常生活のADL（日常生活動作）がおろそかになりますが、どちらかといえば「自分は何もできない」と勝手に思い込んでしまいがちですが、誰でも持っている機能や可能性があります。

これは、日常生活をより楽しくするためのアドバイスです。

とりあえず日常生活のADLを回復していく過程で、自分のやりたいことや可能性をうまくいかし、それが仕事として成立すれば一番理想的です。また、最近はパソコンなどのIT技術が日進月歩で進化しているので、これらを活用しない手はありません。

しかし、何よりも自分のやる気と可能性が一番大切だと思います。

これから日本は、高齢化社会になりますが、障がい者がまずこうした可能性を開拓すること、それこそが「仕事」だと思います。



amp かわいいサミット 2011

かわいいアート・かわいいもの 熊谷に集合！

2011年8月25日(木)~29日(月)

八木橋百貨店 8Fカトレアホール
入場無料 10:00~18:00

※最終日は16:30まで

主催：ampかわいいサミット2011実行委員会

【事務局】NPO法人CILひこうせん 〒361-0071埼玉県行田市栄町22-5

TEL: 048-555-1100 FAX: 048-555-1301 MAIL: hikousen@hks.or.jp

- 6 -

後援：埼玉県・熊谷市・行田市・鴻巣市・伊勢崎市・寄居町・熊谷市社会福祉協議会・行田市社会福祉協議会・鴻巣市社会福祉協議会・伊勢崎社会福祉協議会・寄居町社会福祉協議会・立正大学・社会福祉学部・ものづくり大学大島研究室・朝日新聞さいたま支局・読売新聞さいたま支局・埼玉新聞社・毎日新聞熊谷支局・東京新聞さいたま支局・テレ玉・NHKさいたま放送局・FM NACK5・協賛：LeTAO・武道館・タジマオートセンター

【会場案内】
〒360-8052 埼玉県熊谷市仲町74
秩父鉄道 上熊谷駅より徒歩5分

JR高崎線・秩父鉄道 熊谷駅より徒歩15分
熊谷駅北口発バス 熊谷市(ゆうごくじ) 徒歩3分
(東松山行き/妻沼行き)



amp かわいいサミット 2011

art! meet! performance!

アート・雑貨・食べ物 etc...
全国のかわいいもの、集めてみました！

参加団体・個人一覧

あすなろホーム(E)	アートリンロー(A)	アンディーズ(P)	おにの家(E)	オリピアフィットネススタジオ(P)
おいしいヘルシーおからクッキーです♪陸前高田市より初参加です！	皆様の疲れた心と体を少しでも癒したいと日々絵を描き続けています。	行田特別支援学校の教員3名で構成されたバンドです。	知る人ぞ知る逸品のお味噌。無添加で、生きているから体に良い！	元気で爽やか、オリピアフィットネススタジオのオリピアキッズです！
かがやき作業所(G-A)	川口太陽の家 工房集(G)	木村 浩章(P)	行田のぞみ園(E)	こころ音楽隊(P)
仲間たちが丹精込めて作った作品や、全国の施設支援の為の品がたくさん！	織りのオリジナル製品・アート創作活動をしています。	誰もが、自分の夢を実現できる社会を目指し、NPO法人を運営。	やさしい味のクッキーとバウンドケーキ。食べるとホッとしてます。	みんなで楽しんで演奏する音楽隊。
こぼす(E)	さくまひでき(P)	笹川なすな工房(E)	幸手学園(E)	新保 いずみ(A)
手作りパン・手作り豆腐！おいしさにこだわっています。	男性ミュージシャン。心が優しくなる歌をお届けします。	素材にこだわった手作り無添加ジャム。自信の逸品です。	1つ1つの素材を大切に、心を込めて手作りしたお菓子です。	NHKハート展に4年連続入賞。繊細で端々しい詩を読みます。
田島隆宏(P)	谷介(P)	たんぽぽの家(P)	ときわ工舎(E)	福島 尚(A)
「地上50cmの写真家」他に書道や作詩など、多彩な活動を行う。	熊谷や東京を中心に活動中の男性シンガーソングライター。	オリジナルグッズや他施設のセレクトグッズを販売しています。	クッキー。千葉県産小麦100%使用。平飼い地鶏卵使用。	車輪に関わる作品はあるで写真の様、緻密で超越した表現に驚き感動します。
脳性マヒブラザーズ(P)	はぐくみ園(G-E)	ひこうせん(A-G)	まどか工房(E)	ぶどうの木(E-P)
新潟発、ただ今話題沸騰中！！の脳性マヒお笑いコンビ。	手作りバウンドケーキとクッキー。炭のインテリアもグッド！	活動に制限無し！中でもアート作品は必見！	今年も参戦！材料にこだわった商品を横浜よりお届けします！	☆手作りのピーズアクセサリーとおいしいケーキを販売☆
フラナレイブアメリア(P)	ぼえむ(P)	眞心絶品(G-E)	ゆめたまご(G)	美雨(P)
いつも明るく楽しく笑顔いっぱい。誰でも楽しめるフラダンスです。	ギター・弾き語り中心のボップデュオ。オリジナルバラードを聴かせます！	授産施設で作られた優れたモノを厳選しました。今回は、東北復興がテーマです。	世界にひとつのおもしろかわいい雑貨たちを制作しています。	タロットカード占い・占星術などを得意とする占い師。
妻の穂(A-G)	森圭一郎(P)	遊TOピア(G)	せんだみつおさん 特別出演!!	
自分たちに出来ることにチャレンジし、自立を目指しています。	旅人・シンガーソングライター。生き様が反映する歌を魂の叫びで歌う。	地域の皆さまからの寄付を再利用して商品づくり＆サイクル販売しています。	田島隆宏さんの友人であるタレントのせんだみつおさんが応援に駆け付けてくれます。	

A:アート展示 G:雑貨・グッズ E:食品 P:パフォーマンス

イベントスケジュール

	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
25(木)	11:00~ こころ音楽隊 <コンサート>					15:00~ 谷介 <コンサート>	
26(金)	11:00~ 田島隆宏 <講演>			13:30~ アンディーズ <コンサート>		15:00~ 木村浩章 <講演>	
27(土)	11:00~ フラナレイ ブアメリア <フラダンス>		13:00~ 森圭一郎 <コンサート>		15:00~ さくま ひでき <コンサート>		
28(日)	11:00~ こころ音楽隊 <コンサート>			14:00~ オリピア <ダンス>		15:30~ せんだみつお <講演>	
29(月)	11:00~ ぼえむ <コンサート>			14:00~ 脳性マヒ ブラザーズ <漫才>			

27日(土)・28日(日) 10:00~17:00 美雨の占いコーナー

※イベントスケジュールは当日変更する場合もあります。

東北・関東大震災で被災された障がい者施設等の商品を販売します。また、避難生活困難者支援のために支援金を募ります。-

- 7 -

第27回 DPI 日本会議全国集会 in 沖縄報告

報告者 木村 浩章

6月18・19日に沖縄県那覇市において、DPI日本会議の総会と、全国集会が開かれ参加しました。

この集会テーマは、「私たちの手で実現しよう、インクルーシブな社会を！～被災から再生へ「誰でも排除しない・させない社会」に向かって～」でした。

また、北は北海道から南は地元沖縄県までの会員や関係者約300名の参加者が集まり、熱気に満ちあふれた集会でした。

19日の午前の全体会では「インクルーシブな社会への新生を～障害者基本法と制度改革～」をテーマとし、障がい者制度改革推進会議の進捗状況や東日本大震災の被災地からの報告、障害者基本法の改正等をめぐる動向など、障がい者を取り巻く社会についての重要な課題が自由押しでした。

午後は、「地域生活と地域間格差」「地域生活と新しいまち・生活・ネットワーク」という分科会に参加しました。この分科会では、現在の自立支援会議で変わった平成25年8月より施行が予定されている「総合福祉法」について、これまでの「つなぎ法」についてのことを話し合いました。

「総合福祉法」は、現在、障がい者制度改革推進会議の中の総合福祉部会で検討しています。その中で注目点は、現在の重度訪問介護を発展的継承によるアメリカ等が実施している「パーソナルアシスタント制度」の確立を検討しています。これは、対象者を知的障がい者や精神障がい者にも広げ、サービスの範囲も通勤・勤務中、通学・授業中、通院・入院中も適応できるようになることです。この総合福祉法は、来年の通常国会に法案が提出され、成立する予定です。

「つなぎ法」では、特に今年の10月から重度視覚障がい者のガイドヘルプがこれまでの市町村生活支援事業から介護給付と同様、個別給付となります。（重度視覚障がい者の規定等はまだ国から示されていない）また、来年4月から、居宅等の支給決定において、支給決定の段階からケアマネジメントも実施されます。これは、現在の介護保険同様のケアマネジメントになるのかは、現在のところわかりませんが、来年4月から障がい者の生活が良し悪しに関わらず、変化するかもしれません。

この集会で再三言われたのは、東日本大震災の「復興」と言われていますが、「復興は元に戻すことであり、また、弱者を排除する街になってしまうのではないか」という懸念から「復興」ではなく、インクルーシブな社会の実現しようという考え方から「再生」或いは「新生」であるとDPIをはじめとする多くの障がい者団体ではそういう呼び方をしていました。また、それに連関して、もう一つ言っていたのは、国は「復興」の名の下に社会保障費の減額をしてくると予想されました。これは、反対に社会保障を増額することで誰も排除しない・させない社会が実現するとの考え方を行政に示すことが私達の役割だということでした。

今回の集会で、震災から見えてきた地域づくりのあり方や今後の障がい者施策についての勉強が出来、これからひこうせんの事業展開や地域づくり等の参考になりました。

追伸：沖縄は、埼玉とは違い、余り湿度がなく、「カラ」つという暑さで快適に3日間過ごせました。

あっとキミコ

支えあう仕組みづくり

・・・「ひこうせん」という存在・・・

齋藤 貴美子

6月1日、大阪にってきた、森修（もりおさむ）さんという方にお会いするために。森さんとの約束が14時だったので、前から行きたかった「司馬遼太郎記念館」に行ってみた。

「司馬遼太郎記念館」は、司馬遼太郎さんの自宅と、安藤忠雄氏が設計した展示室とで構成された、住宅街の中にある記念館である。敷地の中は、雑木林風になっていて、司馬さんが生前、雑木林を好んでいたので、雑木林を配したそうだ。

私は、そこで、司馬さんが書いた「二十一世紀を生きる君たちへ」という、小学6年生に向かって文章に感銘を受けた。

「二十一世紀を生きる君たちへ」は、大阪書籍発行の小学6年の教科書に掲載されたもので、司馬さんがはじめて子供向けに書いたエッセイだと言われている。司馬さんは、「歴史とは、・・・大きな世界で・・・かつて存在した何億という人生がそこにつめこまれている世界」だといい、歴史の中には、「この世で求めがたいほどにすばらしい人たちがいて、私の日常を、ほげましたり、なぐさめたりしてくれている」のだという。そして、「歴史から学んだ人間の生き方の基本的なことども」として、「人間は助け合って生きている・・・人間は社会をつくって生きている。社会とは、支えあう仕組みということである。」と言っている。

「社会」とは「支えあう仕組み」のことを指すのだという司馬さんの指摘は、ひこうせんを考えると、非常に分かりやすい。まさに、ひこうせんが日々、実施している事務の一つひとつが、「支えあう仕組み」づくりなのであり、ひこうせんは自ら、障がい者の自立を支援するための「仕組み」を、あらゆる社会資源を集約して作っていっているのである。

もちろん、「支えあう仕組み」はひこうせんがやらなくても、社会には存在している。しかし、ひこうせんがやらなくては実現できなかった「支えあう仕組み」を作り出してきているのも事実だと自負する。そして、そこにこそ、ひこうせんの存在意義があるものと思う。

どうか、ひこうせんに関わるすべての方が、この「支えあう仕組み」づくりに、何らかの形で、寄与していることを自覚して、さらに良い「支えあう仕組み」と一緒に作っていきましょう。

おしゃせ掲示板

創業からのお願い

毛糸をお持ちの方はお譲り下さい。
受付は本部にて行っております。

創業 清瀬康太

ひこうせん本部と学童は
8月13日(土)～16日(火)
の4日間お盆休みとなります。

総務 斎藤 洋子

連日猛暑が続き熱中症が心配されるこの頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか?

夏は汗による体臭が気になる季節でもあります。

利用者に不快感を与えてしまうこともあるので、常日頃から清潔を心掛けて欲しいと思います。

PAGE・PAK・レスパイト輪

アシスタントのみなさま、ひこうせんの業務に携わっていただきありがとうございます。

さて、「労働時間管理簿」の提出を5月の実績からお願いしておりますが、未だ提出されていない方は早急に、また、毎月提出されている方はこれからもよろしくお願い致します。

総務 斎藤 洋子

販売

7月は古代蓮で毎週土曜日に

7:00～10:00で販売しています。

7月10日は古代蓮まつりでした。

7月30日には行田特別支援学校夏祭が
17:00～19:30にあります。

径 富田 有美子

ナビを3台購入しました。

庶務課 白石 真

田島隆宏さん「ペットに思う差別化」

私は最近、町に出るとよく見かける光景が気になっています。

それは、家族同様に犬や猫を連れて買い物に出かけたり、旅行に出かけることです。それも犬や猫に洋服を着せ、我が子同様に扱っています。

そのことについては、私が文句を言いたくないのですが、その後のペットとの関わり方に差別化を感じています。

つまり、ここに僕達人間に置き換えると、すごい差別が出てくると思います。

まず、自分の意志で衣類を選択できないことや、自分自身の意志が通らなかつたか、このように当事者が在宅であれば親の言いなりにならなくてはならない。

生まれつきペットと同じように、色々な差別を受けてきた、当事者だからこそペットを見て、このように思うのかもしれない。

レク課から、先日行った行事の報告と、これから行われるイベントの紹介をします。

☆終了しました!☆

●ミニツアーア

6月25日(土)に、『しながわ水族館 & 東京タワー』に行きました。

総勢36人と、大勢の皆さんに参加していただき、しながわ水族館へ。更にその後帰宅グループと別れ、28人で東京タワーの夜景を見てきました。

天気も心配されましたが、さほど降らず、過ごしやすい気候となりました。みんな思い思いに、楽しそうな表情を浮かべていました。

ご参加いただいた皆さん、本当に疲れされました。

ありがとうございました。

※次回のミニツアーアは、3月の予定です。



●餃子パーティー

6月28日(火)、みんなの広場で、『餃子パーティー』と題し、手作りの餃子と、ミニラーメン・ミニチャーハンをみんなで協力して作りながら食べました。総勢63人の皆さんに参加して頂きました。

当日は、とても暑いなかで行ったのですが、暑さにも負けず、みんな美味しく出来たと料理をほおばっていました。

暑い中、皆さんご参加ありがとうございました。



☆☆☆ 今後のイベント予定 ☆☆☆

●バスツアー

今年のバスツアーの日程が決まりましたので、報告します。

10月28日(金)に決定しました。詳細は、また随時報告させていただきます。

●バーベキュー

7月26日(火)みんなの広場で、バーベキューを行います。

詳細は後日、チラシを配布してお知らせ致します。

他、8月は流しそうめん、秋はいも煮会・・・と、イベントが続きます。

レク課のイベントに関する送迎は、無償となりました。是非皆さんお気軽にご参加下さい。

よろしくお願い致します。

企画開発部 細野恵理子